

物流レイアウトセミナー

物流の効率を根本的に向上させる！

工場内物流設計の基本手順

日 時

[講義編] 2026年 2月26日(木) 14:00~17:00

[演習編] 2026年 3月 4日 (水) 10:00~17:00

開 催
方 法

[講義編] オンライン開催(Zoomによるライブ配信のみ)

[演習編] 対面開催 【会場】東京・平河町近辺の会議室

演習中心のセミナーとなりますので、頭を働かせ手を動かしながら習得していただきます

<こんな方におすすめ>

- 生産技術者
- 物流管理、物流設計、生産管理
工程管理に携わる方 など

【注】コンサルタント業の方の参加申し込みはご遠慮下さい。

「実際に頭で考え、手を動かすこと
で工場レイアウト、物流を設計する
難しさを体感することができます。」

「他社の皆様の意見も聞け、
気づきができた。」

「物流の視点を、倉庫だけでなく、調達、生産も
含めて考えていく必要があると思いました。」



講 師 Kein物流改善研究所 代表 仙石 恵一 氏

日産自動車でサプライチェーン構築や新工場物流設計、物流人材育成プログラム構築などを経験。中国駐在時には現地物流会社の改善指導にあたり、日本企業をしのぐほどの実力をつけて外資系大手自動車会社から引き合いがあるまで育て上げた。また、仏ルノー社との共同購買会社においてグローバル調達のしくみを構築。
その後、ユニプレス㈱に転籍。内部統制のしくみや全社リスクマネジメントシステムを構築し、企業コンプライアンスの基礎を築きあげた。

2013年Kein物流改善研究所設立。物流改革、物流改善指導、物流人材育成が専門

工場の物流担当の方たちとお話をしていると、「ものを置くスペースが足りない」「物流エリアが分散していて効率が悪い」「入出荷トラックポートが不足しておりドライバーを待機させてしまっている」などの課題をよく耳にします。この大きな要因として工場レイアウト検討時の物流設計に問題があることが挙げられます。残念ながら工場の物流設計ノウハウを持った人は多くなく、何となく実施した設計で上記のような結果を招いてしまっていると考えられます。

そこでこの問題を解決するために物流設計の基本的な手順を習得できるセミナーを実施します。物流は最初が肝心です。一度設計を間違えると口数を延々と流し続けることになりますので、ぜひそうならないようにノウハウをお持ち帰りください。

プログラム

[2/26] 講義編

(Zoomによるライブ配信のみ)

[3/4] 演習編

(会場での対面開催)

1. 物流設計に起因する問題を認識する

- ・ちぐはぐなものの流れ
- ・物流エリアの絶対的な不足
- ・当たり前のように発生している工程間運搬
- ・これらの問題に伴うコスト認識

2. 物流設計に必要となる要素

- ・部品点数と製品点数
- ・部品と製品の荷姿情報
- ・部品と製品の在庫情報
- ・容器の種類と数量
- ・日当たり物流量
- ・日当たり入出荷トラック台数
- ・調達頻度と出荷頻度

3. 物流設計の基本手順

- ・ものの流し方
- ・物流エリアの種類
- ・マテハン機器の種類
- ・物流エリア所要面積算出手順
- ・物流所要工数の算出手順

4. 物流設計の実施

- ・ものの流し方の検討
- ・種類別物流エリア所要面積の算出
- ・物流レイアウトの検討
- ・トラックポート及び待機場の検討
- ・必要物流機器の検討
- ・必要情報システムの検討
- ・物流所要工数の算出

演習中心

頭を動かせ手を動かしながら習得

受講料

※ 1名様につき 税込み・テキスト代込み

日本ならびに 他地区IE協会会員	日本生産性本部 賛助会員	一般
39,600円	46,200円	52,800円

申込方法

ホームページからお申込みください。 <https://www.j-ie.com/seminar>



IEで拓くモノづくりとサービスの新たな価値

日本インダストリアル・エンジニアリング協会

〒102-8643 東京都千代田区平河町2-13-12

TEL 03-3511-4062 FAX 03-3511-4069

E-mail jiae@j-ie.com <https://www.j-ie.com/>

担当
西村